

- 1982年1月1日から2015年12月31日まで岡山大学病院 産婦人科において卵巣悪性胚細胞腫瘍と診断された患者様へ -
「当科における若年卵巣悪性胚細胞腫瘍の現況」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

研究機関の長 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究科長 那須 保友
岡山大学病院
病院長 榎野 博史

研究責任者 岡山大学病院 産科婦人科
講師 関 典子

1. 研究の概要 (研究の背景、目的及び意義)

卵巣悪性胚細胞腫瘍は卵巣がんの中でも珍しいまれながんですが、若い女性に好発し、抗がん剤もよく効くため、将来子供を希望する患者さんにはなるべく正常な子宮と卵巣を残す治療を行っています。今回、当科で1982年から2015年までの間に治療された卵巣がんのうち、40歳未満の若年卵巣悪性胚細胞腫瘍の治療の実際、特に治療後の妊娠分娩の現状について検討することを目的としました。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

1982年1月1日から2015年12月31日まで岡山大学病院 産婦人科において卵巣悪性胚細胞腫瘍と診断された患者様卵巣悪性胚細胞腫瘍患者25人を対象とします。

2) 研究期間

2017年3月24日 ~ 2017年6月30日

3) 研究方法

対象となる研究対象者様に対し、妊娠可能となるような治療を行った症例について、診療録から、既存の情報を取得します。

4) 使用する情報

研究に使用する情報として、診療録から抽出した情報を使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、拒否機会期限終了後、連結不可能匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5)情報の保存及び廃棄の方法、二次利用

本研究に使用した情報は研究終了後5年間、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 産科・婦人科学教室内で厳重に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピュータから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

6)研究計画書および個人情報の開示

他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料の閲覧や提供を行います。個々の研究の結果は以下の理由により開示致しません。ご了承ください。

【理由】

連結不可能匿名化されている為。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2017年4月10日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院産科婦人科
子

講師

関 典

電話086-235-7320(平日8時30分～17時00分)